

◆【海員随想】BISKRA号航海記(24)③ 新木繁雄

8月26日 アルジェ接岸中

朝食後、マーケットで砂川さんのサヨナラパーティー用の買い物をした。マーケットにはイワシとボラしかない。新しい野菜類の入荷はないらしく、しなびたものばかりだ。小イワシ3キロ、大羽イワシ1キロ、キュウリ2キロを買った。今日の料理はすべてイワシづくめだ。

刺身、団子汁、塩焼き、それにゆでたイワシをおろしショウガで食べる。キュウリはスライスして酢の物。結構、見た目には豪華になった。さいわいタブラー号は今日出港しないという。主賓は砂川さん、エルビアから小枝さん、辻さんが来てくれた。私の部屋が狭くて5人はとても座れないので、煙突横のポートデッキに席を作り、ミッドナイトごろまで歓談した。

8月27日 アルジェ接岸中

機関部の乗組員で、在船している者だけで主機掃気室の掃除。皆真っ黒になっている。修理屋が壊れたポート・ダビットの修理にかかった。

デッキでは、今日も1ギャングだけで3番ハッチの揚げ荷をトロトロやっている。この調子では、あと何日かかることやら。C/Oがギャランティ・レポートを三種類作ってサインを取りに来た。いずれも私がすでに修理してよくなっているものばかりだ。消火用ホース格納箱のドア開閉困難は、次回日本でヒンジを取り替えるよう手配しよう。

昨夜、私たちがポートデッキでパーティーをやったので、今晚はユーゴスラブ連中が魚を仕入れて来て、やっている。

8月28日 アルジェ接岸中

そろそろ8月も終わりに近付き、気温もかなり下がってきた。昨夜、シャワーを使ったら温水が出ず、寒くて震え上がった。温水器のヒーターがまたパンクしているらしい。今日は何をおいても温水器の修理をしよう。難しい仕事ではないが付帯工事が多く、大変やっこしい。電気関係のほとんどの結線を取り外さねばならない。でも、これによって今日から温かいシャワーが使えるのだ。

武村はボイラーのイグナイターの点検をしている。彼も昨夜シャワーが冷たいので、ボイラーに点火して蒸気で温水器を温めようとしたが、どうしても点火できなかったと言う。

午後、ジェナウイー氏(CNANの工務監督)と小枝さんが来た。昨日C/Oが持ってきたギャランティ・レポートに関し、打ち合わせしたいと言う。

消火用ホース格納箱のドアヒンジに関しては、次の日本で取り替えることで話はついた。他の船も同じようにドアヒンジがさび付いていて、日本で取り替えているようだ。

「海員だより」